

# アジア好利回り リート・ファンド 【運用報告書(全体版)】

第15作成期 (2018年9月13日から2019年3月12日まで)

第 **85** 期 / 第 **86** 期 / 第 **87** 期  
決算日2018年10月12日 決算日2018年11月12日 決算日2018年12月12日

第 **88** 期 / 第 **89** 期 / 第 **90** 期  
決算日2019年1月15日 決算日2019年2月12日 決算日2019年3月12日

## ■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／不動産投信
信託期間	2011年9月30日から2025年9月12日まで
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主として、日本を除くアジア各国・地域（オセアニアを含みます。）の取引所に上場している不動産投資信託（リート）等に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 SMAM アジア・リート・サブ・トラスト (JPY Unhedged クラス) 日本を除くアジア各国・地域の取引所に上場している不動産投資信託 マネー・マーケット・マザーファンド 円貨建の短期公社債および短期金融商品
当ファンドの運用方法	■主として、日本を除くアジア各国・地域（オセアニアを含みます。）の取引所に上場している不動産投資信託（リート）を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指します。 ■外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
組入制限	■外貨建資産への直接投資は行いません。
分配方針	■毎月12日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

## 受益者の皆さまへ

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、主として、日本を除くアジア各国・地域（オセアニアを含みます。）の取引所に上場している不動産投資信託（リート）等に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。当作成期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

三井住友アセットマネジメント株式会社は、関係当局の認可等を得ることを前提に、2019年4月1日に大和住銀投信投資顧問株式会社と合併し、商号を三井住友DSアセットマネジメント株式会社に変更する予定です。



## 三井住友アセットマネジメント

〒105-6228 東京都港区愛宕2-5-1 <http://www.smam-jp.com>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま サービス部 ☎0120-88-2976

受付時間：営業日の午前9時～午後5時

お取引状況等はこちらの販売会社へお問い合わせください。

## アジア好利回りリート・ファンド

### ■ 最近 5 作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			債券組入 比率	投資信託 証券組入 比率	純資産 総額
		(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率			
		円	円	%	%	%	百万円
第11 作成期	61期(2016年10月12日)	7,979	130	△2.4	0.0	99.3	212,324
	62期(2016年11月14日)	7,687	130	△2.0	0.0	98.7	199,953
	63期(2016年12月12日)	8,115	130	7.3	0.0	98.8	205,676
	64期(2017年1月12日)	8,151	130	2.0	0.0	97.6	202,109
	65期(2017年2月13日)	8,061	130	0.5	0.0	98.5	197,995
	66期(2017年3月13日)	7,903	130	△0.3	0.0	98.2	191,931
第12 作成期	67期(2017年4月12日)	7,792	130	0.2	0.0	98.1	189,419
	68期(2017年5月12日)	7,986	130	4.2	0.0	98.7	191,268
	69期(2017年6月12日)	7,883	130	0.3	0.0	98.3	186,296
	70期(2017年7月12日)	7,894	130	1.8	0.0	98.4	186,518
	71期(2017年8月14日)	7,696	130	△0.9	0.0	98.5	183,808
	72期(2017年9月12日)	7,804	130	3.1	0.0	99.0	188,917
第13 作成期	73期(2017年10月12日)	7,731	130	0.7	0.0	98.6	190,301
	74期(2017年11月13日)	7,971	130	4.8	0.0	98.9	199,725
	75期(2017年12月12日)	7,921	130	1.0	0.0	98.3	210,869
	76期(2018年1月12日)	7,896	90	0.8	0.0	94.4	225,772
	77期(2018年2月13日)	7,189	90	△7.8	0.0	95.5	206,758
	78期(2018年3月12日)	7,149	90	0.7	0.0	96.8	205,594
第14 作成期	79期(2018年4月12日)	7,145	90	1.2	0.0	98.3	205,325
	80期(2018年5月14日)	7,138	90	1.2	0.0	99.1	203,086
	81期(2018年6月12日)	7,124	90	1.1	0.0	99.3	200,670
	82期(2018年7月12日)	7,093	90	0.8	0.0	98.7	198,030
	83期(2018年8月13日)	7,005	90	0.0	0.0	98.7	192,262
	84期(2018年9月12日)	6,903	90	△0.2	0.0	99.0	189,013
第15 作成期	85期(2018年10月12日)	6,606	60	△3.4	0.0	98.0	180,462
	86期(2018年11月12日)	6,760	60	3.2	0.0	99.0	180,082
	87期(2018年12月12日)	6,864	60	2.4	0.0	98.1	178,115
	88期(2019年1月15日)	6,707	60	△1.4	0.0	98.3	170,892
	89期(2019年2月12日)	7,042	60	5.9	0.0	97.2	175,768
	90期(2019年3月12日)	7,166	60	2.6	0.0	98.5	170,717

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		債券組入 比 率	投資信託 証券組入 比 率
		円	騰 落 率		
第85期	(期 首) 2018年9月12日	6,903	—	0.0	99.0
	9月末	7,076	2.5	0.0	98.1
	(期 末) 2018年10月12日	6,666	△3.4	0.0	98.0
第86期	(期 首) 2018年10月12日	6,606	—	0.0	98.0
	10月末	6,673	1.0	0.0	98.5
	(期 末) 2018年11月12日	6,820	3.2	0.0	99.0
第87期	(期 首) 2018年11月12日	6,760	—	0.0	99.0
	11月末	6,910	2.2	0.0	98.1
	(期 末) 2018年12月12日	6,924	2.4	0.0	98.1
第88期	(期 首) 2018年12月12日	6,864	—	0.0	98.1
	12月末	6,650	△3.1	0.0	97.1
	(期 末) 2019年1月15日	6,767	△1.4	0.0	98.3
第89期	(期 首) 2019年1月15日	6,707	—	0.0	98.3
	1月末	7,014	4.6	0.0	96.5
	(期 末) 2019年2月12日	7,102	5.9	0.0	97.2
第90期	(期 首) 2019年2月12日	7,042	—	0.0	97.2
	2月末	7,178	1.9	0.0	98.1
	(期 末) 2019年3月12日	7,226	2.6	0.0	98.5

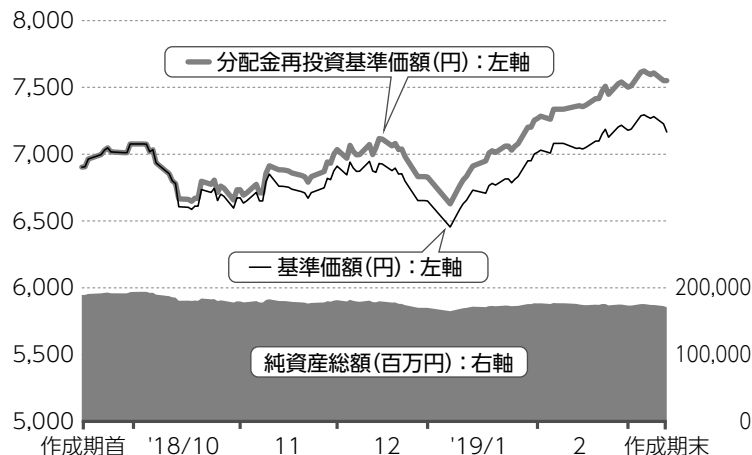
※期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

# 1 運用経過

## 基準価額等の推移について(2018年9月13日から2019年3月12日まで)

### 基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

作成期首：6,903円

作成期末：7,526円

(当作成期分配金360円(税引前)込み)

騰落率：+9.4%

(分配金再投資ベース)

### 分配金再投資基準価額について

分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかにについては、ご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。

## 基準価額の主な変動要因(2018年9月13日から2019年3月12日まで)

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主として日本を除くアジア各国・地域(オセアニアを含みます。)の取引所に上場している不動産投資信託(リート)等に投資しました。

なお、外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジは行っていません。

### 上昇要因

- 香港、シンガポール、オーストラリアのリート市場が上昇したこと
- シンガポールドルが円に対して上昇したこと

### 下落要因

- 香港ドルやオーストラリアドルが円に対して下落したこと

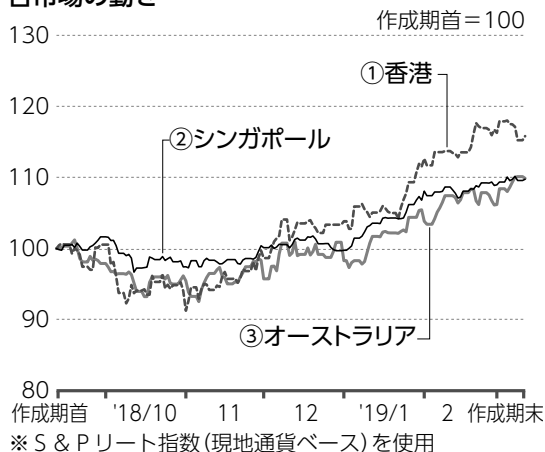
詳しくは後掲の「投資環境について」をご参照ください。

投資環境について(2018年9月13日から2019年3月12日まで)

アジア・オセアニア・リート市場は主要な投資市場である香港、シンガポール、オーストラリアが全て上昇しました。為替市場では、円に対してシンガポールドルが上昇し、香港ドル、オーストラリアドルが下落しました。

アジア・オセアニアリート市場

各市場の動き



①香港リート市場(15.8%上昇)

買い需要が根強く、2桁の上昇率を記録しました。10月から作成期末にかけて、世界的な株価の下落やF R B(米連邦準備制度理事会)の利上げスタンス後退を要因に長期金利が低下したことを好感しました。特に、大型商業施設リートが1桁後半の分配金成長を実現し、同市場全体を牽引しました。

②シンガポールリート市場(9.7%上昇)

作成期初こそ金利変動性の高まりを受けて弱含んだものの、金利の低下が明確になった11月以

降は好調に推移しました。世界的に景気後退への警戒感が漂い続けた中で、相対的な収益の安定性や利回りの高さなどが着目されました。また、各リーートの決算においても、物件取得や不動産市場の改善を反映した堅調な内容が確認され、好感されました。

③オーストラリアリート市場(9.9%上昇)

セクターによってまちまちな動きでしたが、全体では力強く上昇しました。物流やオフィスなどのセクターにおいて高い業績成長がみられた銘柄が買われ、同市場を牽引しました。また、景気減速のリスクを背景に、R B A(オーストラリア準備銀行)による政策金利引上げの可能性が後退したことも、同市場の押し上げに寄与しました。

## 為替市場

	作成期首 (円)	作成期末 (円)	円安/円高
香港ドル・円	14.22	14.20	円高
シンガポールドル・円	81.08	82.15	円安
オーストラリアドル・円	79.24	78.72	円高

アジア通貨は、作成期末時点では香港ドルとオーストラリアドルが対円で小幅な円高、シンガポールドルがやや円安となりました。12月中旬から年初にかけては、世界的な景気減速懸念や株価の下落を受けて急速に円高が進む局面がありました。しかし、F R Bをはじめとした各国中銀による金融引き締め你先送り、スタンスの転換などから、作成期末に向けてアジア通貨が円に対して値を戻す展開となりました。

## ポートフォリオについて(2018年9月13日から2019年3月12日まで)

### 当ファンド

- ①[SMAMアジア・リート・サブ・トラスト(J P Y Unhedgedクラス)]
- ②[マネー・マーケット・マザーファンド]  
を主要投資対象としました。

### ① SMAM アジア・リート・サブ・トラスト(J P Y Unhedged クラス)

(作成期末組入比率：98.5%)

市場動向を注視しながら、個別銘柄の流動性に配慮して慎重に売買を進め、組入比率は高位を保ちました。作成期末の組入銘柄数は42銘柄で、銘柄分散効果でパフォーマンスの安定を図りつつ、個別銘柄を総合的に勘案したウェイト付けで、比較的高いパフォーマンスの享受を狙いました。

### ●国別投資行動

#### (香港)

香港の景気動向に加え、香港経済とつながりが強い中国の景況感、連動性が高い米国の金融政策を注視しました。日用品販売を主力とするディフェンシブ性(景気変動の影響を受けにくいこと)と高水準の分配金成長力を兼ね備える商業施設リートを引き続き高く評価しました。

#### (シンガポール)

オフィスや商業施設を中心とする不動産市況が改善基調にあるなか、その恩恵の享受が期待される銘柄に注目しました。中でも、国内有数のショッピングモールを多数保有する商業施設リートや、アジアにおけるEコマース(電子商取引)需要の拡大を取り込む産業施設リートのウェイトを引き上げました。

#### (オーストラリア)

銘柄ごとの事業環境を勘案して、選別的な投資を行いました。世界的なEコマース市場の需要拡大が見込める物流施設や、市況が好調なオフィスを保有し、成長性が相対的に高い銘柄を評価しました。

#### (その他)

マクロ経済や金融政策の動向、個別リートの中期的な成長性などにに基づき、マレーシア、タイ、ニュージーランドへの投資を引き続き行いました。

## アジア好利回りリート・ファンド

### ●組入上位10銘柄ご案内

(基準日：2019年3月8日)

	銘柄名 国・地域	当期末 組入比率	コメント
1	LINK REIT 香港	9.51%	国内ショッピングセンターを多数保有するアジア・オセアニア最大級の商業施設リート
2	GOODMAN GROUP オーストラリア	9.31%	アジア等グローバルにEコマース向け物流施設等の開発・保有に特化した産業施設リート
3	CAPITALAND MALL TRUST シンガポール	8.14%	国内有数のショッピングモールを多数保有するシンガポールを代表する商業施設リート
4	SCENTRE GROUP オーストラリア	5.52%	オセアニア地域で都市型ショッピングモールを開発・運営する域内最大手の商業施設リート
5	CAPITALAND COMMERCIAL TR シンガポール	4.80%	国内のグレードの高いオフィスビルを保有するシンガポールを代表するオフィスリート
6	MAPLETREE LOGISTICS TRUS シンガポール	4.70%	日本や中国を含むアジア・オセアニア地域で幅広く物流施設を運営する産業施設リート
7	KEPPEL DC REIT シンガポール	4.07%	A I時代のインフラと言われるデータセンターのみを投資対象とするアジア唯一のリート
8	DEXUS オーストラリア	3.57%	豪州の主要都市にて高品質なオフィスを中心に投資する複合リート
9	KEPPEL REIT シンガポール	3.23%	市況回復や資産入替などによる成長加速ポテンシャルを秘めたオフィスリート
10	MAPLETREE COMMERCIAL TRU シンガポール	3.20%	シンガポール最大級のショッピングモールを旗艦物件とする複合型リート

※組入比率は純資産総額に対する比率です。

### ②マネー・マーケット・マザーファンド

(作成期末組入比率：0.0%)

主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行いました。

#### ベンチマークとの差異について(2018年9月13日から2019年3月12日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。



分配金について(2018年9月13日から2019年3月12日まで)

第85期から第90期までの1万口当たりの分配金(税引前)は、基準価額の推移や分配対象額の状況等を勘案した結果、今後も継続的な分配を行うことを目指し、第84期までの90円からそれぞれ60円へ引き下げることといたしました。

なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期	第90期
当期分配金	60	60	60	60	60	60
(対基準価額比率)	(0.900%)	(0.880%)	(0.867%)	(0.887%)	(0.845%)	(0.830%)
当期の収益	47	60	21	14	21	20
当期の収益以外	12	—	38	45	38	39
翌期繰越分配対象額	722	884	846	801	763	726

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

## 2 今後の運用方針

### 当ファンド

「SMAMアジア・リート・サブ・トラスト(JPY Unhedgedクラス)」および「マネー・マーケット・マザーファンド」を主要投資対象として、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行う方針です。引き続き「SMAMアジア・リート・サブ・トラスト(JPY Unhedgedクラス)」の高位組入れを維持します。

### SMAM アジア・リート・サブ・トラスト (JPY Unhedged クラス)

アジア・オセアニアのリート市場は、引き続き安定的な賃料収益に基づく業績動向や配当利回りなどを背景に、堅調な推移を見込み

ます。貿易摩擦問題の長期化や世界経済の減速度合いなどには注視が必要ですが、長期金利の落ち着いた動向や安定的な賃貸収益をベースに、リート業績に対する信頼感は引き続き高いとみています。

引き続き、業績の安定性に留意しながら、アジア地域の中期的な成長を享受でき、配当利回りが魅力的な銘柄を中心に組み入れ、ファンドの基本コンセプトである、「収益の成長性、配当利回り等のバリュエーション(価格評価)に加え、「ESGへの取組み」に着目した運用」を行います。

### マネー・マーケット・マザーファンド

円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

## 3 お知らせ

### 約款変更について

該当事項はございません。

## アジア好利回りリート・ファンド

### ■ 1万口当たりの費用明細(2018年9月13日から2019年3月12日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	38円	0.552%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数/年日数) 投信会社：ファンド運用の指図等の対価 販売会社：交付運用報告書等各种資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(投信会社)	(9)	(0.134)	
(販売会社)	(28)	(0.402)	
(受託会社)	(1)	(0.016)	
(b) 売買委託手数料	4	0.059	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投資信託証券)	(4)	(0.059)	
(c) その他費用	0	0.001	その他費用＝期中のその他費用/期中の平均受益権口数 監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用 その他：信託事務の処理等に要するその他費用
(監査費用)	(0)	(0.000)	
(その他)	(0)	(0.001)	
合計	42	0.612	

期中の平均基準価額は6,916円です。

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託が支払った費用を含みません。当該投資信託の費用は後掲の「包括利益計算書」をご覧ください。

### ■ 当作成期中の売買及び取引の状況(2018年9月13日から2019年3月12日まで)

#### 投資信託証券

		当 作 成 期			
		買 付		売 付	
		口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
国内	SMAM アジア・リート・サブ・トラスト (JPY Unhedged クラス)	□ -	千円 -	□ 19,969,034,125	千円 35,382,931
		(5,712,914,467)	(9,828,751)		
合 計		-	-	19,969,034,125	35,382,931
		(5,712,914,467)	(9,828,751)		

※金額は受渡し代金。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※( )内は分割・償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## アジア好利回りリート・ファンド

### ■ 利害関係人との取引状況等 (2018年9月13日から2019年3月12日まで)

当作成期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

### ■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2018年9月13日から2019年3月12日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

### ■ 組入れ資産の明細 (2019年3月12日現在)

#### (1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	作成期首	作成期末		
	口数	口数	評価額	組入比率
	口	口	千円	%
SMAM アジア・リート・サブ・トラスト (JPY Unhedged クラス)	104,060,900,831	89,804,781,173	168,195,374	98.5
合 計	104,060,900,831	89,804,781,173	168,195,374	98.5

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

#### (2) 親投資信託残高

種 類	作成期首	作成期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
マネー・マーケット・マザーファンド	99	99	100

※マネー・マーケット・マザーファンドの作成期末の受益権総口数は89,650千口です。

※単位未満は切捨て。

## アジア好利回りリート・ファンド

### ■ 投資信託財産の構成

(2019年3月12日現在)

項 目	作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	168,195,374	96.5
マネー・マーケット・マザーファンド	100	0.0
コール・ローン等、その他	6,092,284	3.5
投資信託財産総額	174,287,758	100.0

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

### ■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2018年10月12日) (2018年11月12日) (2018年12月12日) (2019年1月15日) (2019年2月12日) (2019年3月12日)

項 目	第85期末	第86期末	第87期末	第88期末	第89期末	第90期末
<b>(A) 資 産</b>	<b>183,112,628,860円</b>	<b>182,775,786,752円</b>	<b>181,058,836,841円</b>	<b>173,039,086,918円</b>	<b>177,850,997,336円</b>	<b>174,287,758,347円</b>
コール・ローン等	6,287,767,986	2,015,744,005	6,343,186,207	5,077,876,166	6,063,374,078	5,048,723,639
投資信託受益証券(評価額)	176,824,760,694	178,267,442,567	174,715,550,464	167,961,110,582	170,885,636,898	168,195,374,658
マネー・マーケット・マザーファンド(評価額)	100,180	100,180	100,170	100,170	100,160	100,150
未 収 入 金	-	2,492,500,000	-	-	901,886,200	1,043,559,900
<b>(B) 負 債</b>	<b>2,649,648,374</b>	<b>2,693,372,387</b>	<b>2,943,315,816</b>	<b>2,146,610,686</b>	<b>2,082,017,883</b>	<b>3,570,248,915</b>
未払収益分配金	1,639,060,631	1,598,259,573	1,557,020,583	1,528,673,471	1,497,520,511	1,429,491,513
未払解約金	835,743,509	924,091,648	1,222,117,943	439,272,661	435,115,713	1,991,920,581
未払信託報酬	174,646,420	170,591,822	163,789,992	178,452,264	149,001,558	148,651,948
未払利息	18,432	-	15,640	14,620	17,774	11,065
その他未払費用	179,382	429,344	371,658	197,670	362,327	173,808
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>180,462,980,486</b>	<b>180,082,414,365</b>	<b>178,115,521,025</b>	<b>170,892,476,232</b>	<b>175,768,979,453</b>	<b>170,717,509,432</b>
元 本	273,176,771,911	266,376,595,579	259,503,430,603	254,778,911,874	249,586,751,916	238,248,585,598
次期繰越損益金	△ 92,713,791,425	△ 86,294,181,214	△ 81,387,909,578	△ 83,886,435,642	△ 73,817,772,463	△ 67,531,076,166
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>273,176,771,911口</b>	<b>266,376,595,579口</b>	<b>259,503,430,603口</b>	<b>254,778,911,874口</b>	<b>249,586,751,916口</b>	<b>238,248,585,598口</b>
1万口当たり基準価額(C/D)	<b>6,606円</b>	<b>6,760円</b>	<b>6,864円</b>	<b>6,707円</b>	<b>7,042円</b>	<b>7,166円</b>

※当作成期における作成期首元本額273,813,978,653円、作成期中追加設定元本額16,873,293,463円、作成期中一部解約元本額52,438,686,518円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

## アジア好利回りリート・ファンド

### ■ 損益の状況

〔自2018年9月13日  
至2018年10月12日〕
〔自2018年10月13日  
至2018年11月12日〕
〔自2018年11月13日  
至2018年12月12日〕
〔自2018年12月13日  
至2019年1月15日〕
〔自2019年1月16日  
至2019年2月12日〕
〔自2019年2月13日  
至2019年3月12日〕

項 目	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期	第90期
(A) 配 当 等 取 益	1,461,523,564円	6,061,292,096円	580,265,152円	559,961,028円	548,702,103円	516,443,066円
受 取 配 当 金	1,461,786,390	6,061,352,950	580,373,519	560,136,231	548,904,456	516,674,755
支 払 利 息	△ 262,826	△ 60,854	△ 108,367	△ 175,203	△ 202,353	△ 231,689
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 7,810,716,195	△ 206,066,096	3,799,330,351	△ 2,823,561,934	9,417,031,118	3,922,041,040
売 買 益	9,631,856	1,037,316,122	4,847,275,188	35,146,217	10,339,828,247	4,882,616,457
売 買 損	△ 7,820,348,051	△ 1,243,382,218	△ 1,047,944,837	△ 2,858,708,151	△ 922,797,129	△ 960,575,417
(C) 信 託 報 酬 等	△ 174,825,802	△ 170,981,157	△ 164,068,320	△ 178,856,177	△ 149,292,215	△ 148,825,723
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	△ 6,524,018,433	5,684,244,843	4,215,527,183	2,442,457,083	9,816,441,006	4,289,658,383
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 842,681,115	△ 8,696,340,503	△ 4,449,965,428	△ 1,732,794,476	△ 5,539,093,355	2,639,323,155
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 83,708,031,246	△ 81,683,825,981	△ 79,596,450,750	△ 78,182,510,612	△ 76,597,599,603	△ 73,030,566,191
( 配 当 等 相 当 額 )	( 3,096,112,121)	( 3,159,371,653)	( 3,195,887,490)	( 3,279,001,111)	( 3,327,841,782)	( 3,403,329,337)
( 売 買 損 益 相 当 額 )	(△ 86,804,143,367)	(△ 84,843,197,634)	(△ 82,792,338,240)	(△ 81,461,511,723)	(△ 79,925,441,385)	(△ 76,433,895,528)
(G) 計 ( D + E + F )	△ 91,074,730,794	△ 84,695,921,641	△ 79,830,888,995	△ 82,357,762,171	△ 72,320,251,952	△ 66,101,584,653
(H) 収 益 分 配 金	△ 1,639,060,631	△ 1,598,259,573	△ 1,557,020,583	△ 1,528,673,471	△ 1,497,520,511	△ 1,429,491,513
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△ 92,713,791,425	△ 86,294,181,214	△ 81,387,909,578	△ 83,886,435,642	△ 73,817,772,463	△ 67,531,076,166
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 83,708,031,246	△ 81,683,825,981	△ 79,596,450,750	△ 78,182,510,612	△ 76,597,599,603	△ 73,030,566,191
( 配 当 等 相 当 額 )	( 3,096,112,121)	( 3,159,371,653)	( 3,195,887,490)	( 3,279,001,111)	( 3,327,841,782)	( 3,403,329,337)
( 売 買 損 益 相 当 額 )	(△ 86,804,143,367)	(△ 84,843,197,634)	(△ 82,792,338,240)	(△ 81,461,511,723)	(△ 79,925,441,385)	(△ 76,433,895,528)
分 配 準 備 積 立 金	16,632,545,691	20,394,192,096	18,767,350,613	17,150,084,984	15,739,645,136	13,895,092,985
繰 越 損 益 金	△ 25,638,305,870	△ 25,004,547,329	△ 20,558,809,441	△ 22,854,010,014	△ 12,959,817,996	△ 8,395,602,960

※有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期	第90期
(a) 費用控除後の配当等収益	1,286,697,849円	5,890,311,033円	558,526,174円	381,104,940円	540,476,175円	499,119,817円
(b) 費用控除後・繰越欠損金補填後の 有価証券売買等損益	-	-	-	-	-	-
(c) 収益調整金	3,096,112,121	3,159,371,653	3,195,887,490	3,279,001,111	3,327,841,782	3,403,329,337
(d) 分配準備積立金	16,984,908,473	16,102,140,636	19,765,845,022	18,297,653,515	16,696,689,472	14,825,464,681
(e) 分配可能額(a+b+c+d)	21,367,718,443	25,151,823,322	23,520,258,686	21,957,759,566	20,565,007,429	18,727,913,835
1万口当たり分配可能額	782	944	906	861	823	786
(f) 分配金額	1,639,060,631	1,598,259,573	1,557,020,583	1,528,673,471	1,497,520,511	1,429,491,513
1万口当たり分配金額(税引前)	60	60	60	60	60	60

### ■ 分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税引前)	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期	第90期
	60円	60円	60円	60円	60円	60円

※分配金は、分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額「普通分配金」となり課税されます。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は下回る部分が「元本戻入金(特別分配金)」となり非課税、残りの部分が「普通分配金」となります。

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

## アジア好利回りリート・ファンド

### ■ 組入れ投資信託証券の内容

#### 投資信託証券の概要

ファンド名	SMAM アジア・リート・サブ・トラスト (JPY Unhedged クラス)
形態	ケイマン籍外国投資信託 (円建て)
主要投資対象	日本を除くアジア各国・地域の取引所に上場している不動産投資信託
運用の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本を除くアジア各国・地域の取引所に上場している不動産投資信託に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指します。</li> <li>※オセアニア地域の取引所に上場している不動産投資信託にも投資を行います。</li> <li>・収益の成長性に加え、配当利回り等のバリュエーションに着目した運用を行います。</li> <li>・原則として対円での為替ヘッジを行いません。</li> </ul>
ベンチマーク	ありません。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有価証券の空売りは純資産総額の範囲内で行います。</li> <li>・純資産総額の10%を超える借入れを行いません。</li> </ul>
決算日	毎年2月の最終営業日
分配方針	毎月28日(休業日の場合は前営業日)に分配を行う方針です。
運用報酬等	純資産総額に対して年0.7%程度 ただし、年間最低報酬額との関係で純資産総額によっては上記の料率を上回る場合があります。
管理およびその他の費用	<p>ファンドの設立、取引関連費用、法的費用、会計・監査および税務上の費用ならびにその他の費用を負担します。</p> <p>その他の費用・手数料については、ファンドの運営状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。</p>
申込手数料	ありません。
信託財産留保額	解約時に0.3%
投資運用会社	三井住友アセットマネジメント株式会社
投資助言会社	UOB-SMアセットマネジメント・ピーティーイー・リミテッド
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。

以下には、「SMAM アジア・リート・サブ・トラスト (JPY Unhedged クラス)」をシェアクラスとして含む「SMAM アジア・リート・サブ・トラスト」の情報を委託会社において抜粋・要約して翻訳したものを記載しています。

■ 包括利益計算書(2017年3月1日から2018年2月28日まで)

(単位：円)

利益	
配当収入、純実現利益および損益を通じて公正価値で測定する金融資産・負債 ならびに外貨換算にかかる未実現評価益の純変動	16,916,666,000
費用	
投資運用報酬	1,085,662,577
取引費用	301,977,906
管理事務代行報酬	157,914,560
保管報酬	107,335,165
受託報酬	19,739,321
名義書換代行報酬	19,739,321
支払利息	14,480,590
専門家報酬	4,928,845
登録手数料	582,457
費用合計	<u>1,712,360,742</u>
営業利益	<u>15,204,305,258</u>
財務費用	
償還可能受益証券保有者への分配金	<u>(39,630,953,831)</u>
税引前利益	(24,426,648,573)
源泉徴収税	(610,254,782)
営業による償還可能受益証券保有者に帰属する純資産の増加	<u>(25,036,903,355)</u>



## アジア好利回りリート・ファンド

### ■ 投資明細表(2018年2月28日現在)

株数	銘柄名	純資産比率 (%)	公正価値 (単位：円)
	普通株式 (96.6%)		
	オーストラリア (25.7%)		
	不動産投資信託 (25.7%)		
2,930,000	Charter Hall Group	0.7	1,425,230,249
4,574,731	Charter Hall Long Wale REIT Class REIT	0.7	1,445,475,395
8,105,991	Dexus	3.1	6,268,312,078
1,588,369	Folkestone Education Trust	0.2	364,520,560
15,227,332	Goodman Group	5.1	10,395,096,336
10,455,000	GPT Group	2.0	4,138,019,515
3,400,000	Investa Office Fund	0.6	1,195,861,348
25,287,832	Mirvac Group Class REIT	2.2	4,457,681,173
7,584,652	Rural Funds Group	0.7	1,343,311,731
39,170,503	Scentre Group	6.2	12,506,964,511
13,412,598	Stockland	2.2	4,505,633,041
19,995,652	Vicinity Centres	2.0	4,123,336,660
			52,169,442,597
	オーストラリア合計		52,169,442,597
	香港 (17.4%)		
	不動産投資信託 (17.4%)		
49,290,000	Champion REIT	1.8	3,743,671,879
44,281,000	Fortune Real Estate Investment Trust	2.8	5,627,520,636
21,141,500	Link REIT	9.5	19,286,156,167
16,765,000	Prosperity REIT	0.4	768,115,624
40,016,000	Sunlight Real Estate Investment Trust	1.4	2,973,814,951
41,910,000	Yuexiu Real Estate Investment Trust	1.5	2,977,413,464
			35,376,692,721
	香港合計		35,376,692,721

## アジア好利回りリート・ファンド

株数	銘柄名	純資産比率 (%)	公正価値 (単位：円)
	マレーシア (1.0%)		
	不動産投資信託 (1.0%)		
42,850,200	Sunway Real Estate Investment Trust Class REIT	1.0	1,972,743,935
	マレーシア合計		<u>1,972,743,935</u>
	ニュージーランド (0.5%)		
	不動産投資信託 (0.5%)		
9,183,304	Kiwi Property Group, Ltd.	0.5	941,288,691
	ニュージーランド合計		<u>941,288,691</u>
	シンガポール (51.0%)		
	GAS (0.3%)		
12,102,400	Keppel Infrastructure Trust	0.3	551,561,691
	不動産投資信託 (50.7%)		
5,727,925	AIMS AMP Capital Industrial REIT	0.3	632,982,982
3,620,000	Ascendas Hospitality Trust	0.1	246,739,922
14,553,700	Ascendas India Trust	0.6	1,173,944,491
81,400,984	Ascendas Real Estate Investment Trust	8.6	17,400,016,995
83,133,902	CapitaLand Commercial Trust, Ltd.	5.7	11,601,079,743
71,762,800	CapitaLand Mall Trust	5.8	11,692,971,431
23,762,700	CapitaLand Retail China Trust	1.5	3,066,831,473
5,990,200	CDL Hospitality Trusts	0.4	802,090,836
10,800,000	ESR-REIT	0.2	496,561,169
22,834,000	First Real Estate Investment Trust	1.2	2,504,926,855
18,423,500	Frasers Centrepoint Trust Class REIT	1.6	3,284,267,753
44,101,000	Frasers Logistics & Industrial Trust Class REIT	1.9	3,877,475,648
59,156,596	Keppel DC REIT Class REIT	3.3	6,680,444,422
36,212,200	Keppel REIT	1.7	3,446,760,136
93,036,900	Lippo Malls Indonesia Retail Trust	1.5	2,964,329,463
50,229,163	Mapletree Commercial Trust	3.1	6,361,063,594
60,456,000	Mapletree Greater China Commercial Trust	2.9	5,803,106,145

## アジア好利回りリート・ファンド

株数	銘柄名	純資産比率 (%)	公正価値 (単位：円)
49,235,300	Mapletree Industrial Trust	3.8	7,784,071,269
74,002,420	Mapletree Logistics Trust	3.5	7,163,104,911
46,404,900	OUE Hospitality Trust	1.6	3,219,114,588
4,972,500	Parkway Life Real Estate Investment Trust	0.6	1,131,092,295
26,979,700	Starhill Global REIT Class REIT	0.8	1,588,671,557
			<u>102,921,647,678</u>
	シンガポール合計		<u>103,473,209,369</u>
	タイ (1.0%)		
	不動産投資信託 (1.0%)		
12,850,000	CPN Retail Growth Leasehold REIT	0.5	982,831,511
18,916,000	IMPACT Growth Real Estate Investment Trust	0.5	1,003,107,159
			<u>1,985,938,670</u>
	タイ合計		<u>1,985,938,670</u>
	普通株式合計 (取得原価：193,791,567,226円)		<u>195,919,315,983</u>

# マネー・マーケット・マザーファンド

第8期 (2018年3月2日から2019年3月1日まで)

信託期間	無期限 (設定日: 2011年5月31日)
運用方針	主として、円貨建の短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

## ■最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債券組入 比率	純資産 総額
	円	期中 騰落率		
4期 (2015年3月2日)	10,035	0.1	98.5	97
5期 (2016年3月1日)	10,039	0.0	84.3	93
6期 (2017年3月1日)	10,033	△0.1	66.0	137
7期 (2018年3月1日)	10,025	△0.1	76.9	90
8期 (2019年3月1日)	10,019	△0.1	74.1	89

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

## ■当期中の基準価額と市況等の推移

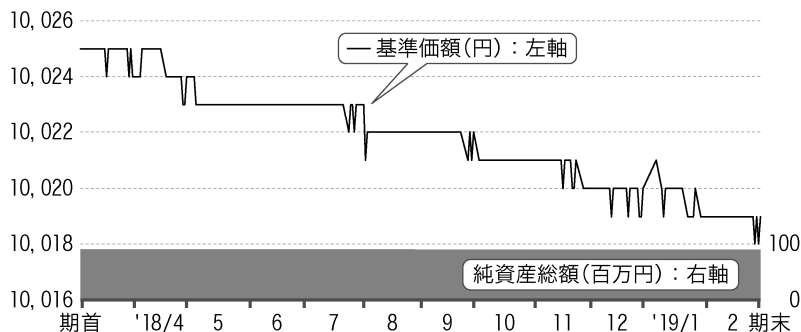
年月日	基準価額		債券組入 比率
	円	騰落率	
(期首) 2018年3月1日	10,025	—	76.9
3月末	10,024	△0.0	76.8
4月末	10,024	△0.0	77.1
5月末	10,023	△0.0	76.9
6月末	10,023	△0.0	76.9
7月末	10,023	△0.0	77.0
8月末	10,022	△0.0	77.5
9月末	10,022	△0.0	77.4
10月末	10,021	△0.0	77.3
11月末	10,020	△0.0	74.1
12月末	10,020	△0.0	74.0
2019年1月末	10,019	△0.1	73.9
2月末	10,018	△0.1	54.9
(期末) 2019年3月1日	10,019	△0.1	74.1

※騰落率は期首比です。

## 1 運用経過

### ▶ 基準価額等の推移について (2018年3月2日から2019年3月1日まで)

#### 基準価額等の推移



期首	10,025円
期末	10,019円
騰落率	-0.1%

### ▶ 基準価額の主な変動要因 (2018年3月2日から2019年3月1日まで)

当ファンドは、円建ての公社債および短期金融商品などへ投資しました。

#### 下落要因

・日銀によるマイナス金利政策が継続され、主要投資対象である短期公社債や短期金融商品におけるマイナス利回りが続いたこと

### ▶ 投資環境について (2018年3月2日から2019年3月1日まで)

当期の短期金利は小幅上昇しましたが、マイナス圏での推移は継続しました。

物価上昇率が目標とする2%まで乖離がある状態が続いたことから、日銀は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」政策を維持し、日銀当座預金の一部へのマイナス金利付利を継続しました。

日銀は需給動向を勘案しながら短期国債の買入れを調整したことから、国庫短期証券3ヵ月物利回りはマイナス圏でのレンジ推移となりました。国庫短期証券3ヵ月物利回りは期首-0.200%に対し、期末には-0.180%へ小幅上昇しました。

## ▶ ポートフォリオについて (2018年3月2日から2019年3月1日まで)

短期金利は低位での推移が継続するとの見通しから、残存0年から1年3カ月の円建て公社債および短期金融商品で構築したポートフォリオを継続しました。また、マイナス利回りの影響を抑制することに配慮しながら、短期公社債の組入れを行いました。

## ▶ ベンチマークとの差異について (2018年3月2日から2019年3月1日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

## 2 今後の運用方針

日銀によるマイナス金利政策が継続され、短期国債利回りやコールローン翌日物金利など、主要投資対象である短期公社債および短期金融商品の利回りは引き続きマイナス圏で推移しています。

残存0年から1年3カ月の公社債や短期金融商品で利回りのマイナス幅が小さい投資対象を選定し、マイナス利回りの影響を抑制することに配慮して運用を行います。

### ■ 1万口当たりの費用明細 (2018年3月2日から2019年3月1日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) その他費用 (その他)	1円 (1)	0.013% (0.013)	その他費用 = 期中のその他費用 / 期中の平均受益権口数 その他 : 信託事務の処理等に要するその他費用
合計	1	0.013	

期中の平均基準価額は10,021円です。

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

### ■ 当期中の売買及び取引の状況 (2018年3月2日から2019年3月1日まで)

公社債

		買付額	売付額
国内	特 殊 債 券	千円 66,995	千円 - (69,000)

※金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※( )内は償還等による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 利害関係人との取引状況等 (2018年3月2日から2019年3月1日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況  
(2018年3月2日から2019年3月1日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2019年3月1日現在)

公社債

A 債券種類別開示／国内(邦貨建)公社債

区 分	期				末		
	額 面 金 額	評 価 額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
特 殊 債 券 ( 除 く 金 融 債 )	66,000 (66,000)	66,582 (66,582)	74.1 (74.1)	— (—)	— (—)	— (—)	74.1 (74.1)
合 計	66,000 (66,000)	66,582 (66,582)	74.1 (74.1)	— (—)	— (—)	— (—)	74.1 (74.1)

※( )内は非上場債で内書きです。

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※一印は組入れなし。

B 個別銘柄開示／国内(邦貨建)公社債

種 類	銘 柄	期		末	
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
		%	千円	千円	
特 殊 債 券 ( 除 く 金 融 債 )	第5回 政府保証阪神高速道路債券	1.3	17,000	17,238	2020/3/18
	第8回 政府保証地方公営企業等金融機構債券	1.5	16,000	16,056	2019/5/24
	第95回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.2	17,000	17,173	2019/12/27
	第3回 政府保証地方公共団体金融機構債券	1.5	16,000	16,113	2019/8/16
合 計	計	—	66,000	66,582	—

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

■ 投資信託財産の構成

(2019年3月1日現在)

項 目	期		末	
	評 価 額	比 率	評 価 額	比 率
	千円	%	千円	%
公 社 債	66,582	62.2	66,582	62.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	40,473	37.8	40,473	37.8
投 資 信 託 財 産 総 額	107,055	100.0	107,055	100.0

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

## ■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2019年3月1日現在)

項目	期末
(A) 資産	107,055,375円
コール・ローン等	40,251,327
公社債(評価額)	66,582,000
未収利息	222,048
(B) 負債	17,239,090
未払金	17,238,850
未払利息	33
その他未払費用	207
(C) 純資産総額(A-B)	89,816,285
元本	89,650,363
次期繰越損益金	165,922
(D) 受益権総口数	89,650,363口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,019円

※当期における期首元本額90,260,179円、期中追加設定元本額76,811,023円、期中一部解約元本額77,420,839円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※期末における元本の内訳は以下の通りです。

日興ワールドCBファンド(通貨アルファ戦略コース)	8,495,310円
日興ワールドCBファンド(円ヘッジありコース)	2,445,519円
日興ワールドCBファンド(円ヘッジなしコース)	1,548,154円
インド内需関連株式ファンド	119,759円
高成長インド・中型株式ファンド	17,711,132円
アジア好利回りリート・ファンド	99,971円
三井住友・ビムコ・ストラテジック・インカムファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型)	7,742,960円
三井住友・ビムコ・ストラテジック・インカムファンド(為替ヘッジなし/年1回決算型)	1,337,053円
三井住友・ビムコ・ストラテジック・インカムファンド(為替ヘッジあり/3か月決算型)	4,909,194円
三井住友・ビムコ・ストラテジック・インカムファンド(為替ヘッジなし/3か月決算型)	1,456,790円
日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド(為替ヘッジなし)	14,208,735円
日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド(原定為替ヘッジ)	1,237,272円
三井住友・ニュー・アジア・ファンド	369,177円
アジア好利回りリート・ファンド(年1回決算型)	997円
日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド(為替ヘッジなし/年2回決算型)	1,187,376円
日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド(原定為替ヘッジ/年2回決算型)	389,132円
日興フィデリティ世界企業債券ファンド(為替ヘッジあり)	209,527円
日興フィデリティ世界企業債券ファンド(為替ヘッジなし)	179,593円
日興エドモン・ドゥ・ロスチャイルド・グローバルCBファンド(為替ヘッジあり)	289,352円
日興エドモン・ドゥ・ロスチャイルド・グローバルCBファンド(為替ヘッジなし)	419,066円
アジア高利回り現地通貨建て債券ファンド(毎月分配型)	9,963円
アジア高利回り現地通貨建て債券ファンド(資産成長型)	9,963円
グローバル自動運転関連株式ファンド(為替ヘッジあり)	4,140,881円
グローバル自動運転関連株式ファンド(為替ヘッジなし)	11,065,647円
グローイング・フロンティア株式ファンド	2,185,185円
高成長インド・中型株式ファンド(年1回決算型)	7,882,655円

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

## ■ 損益の状況

(自2018年3月2日 至2019年3月1日)

項目	当期
(A) 配当等収益	974,849円
受取利息	985,681
支払利息	△ 10,832
(B) 有価証券売買損益	△ 1,021,170
売却損	△ 1,021,170
(C) 信託報酬等	△ 12,121
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 58,442
(E) 前期繰越損益金	225,710
(F) 追加信託差損益金	168,977
(G) 解約差損益金	△ 170,323
(H) 計(D+E+F+G)	165,922
次期繰越損益金(H)	165,922

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、保管費用等を含めて表示しています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ■ お知らせ

### <約款変更について>

該当事項はございません。